

## 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

 (8) どこでもマルシェ
JA東京あおば（東京都）

新規	継続
○	(平成 年 月)

1 動機 (経緯)	当JAは、平成28年度から始まった第7次中期経営計画の第3の柱「経営基盤戦略」の具体的実践事項として、支店イベントを組合員の皆さまと企画・実践し、地域になくってはならないJAの確立に努めることを掲げており、これまでに取り組んでいなかった生産者と消費者をつなげる新たな場として、金融店舗でのイベント等を企画・実践することとなりました。
2 概要	現在JA東京あおばには15支店があり、その内農産物販売所は6カ所あります。「新鮮な地場産の野菜が買いたい」という地域住民のニーズに応えるために、平成28年度に石神井地区青壮年部が主体となって立ち上げた「どこでもマルシェ」を後援し、金融店舗前で農産物や地域の特産品を販売しました。（関町支店）また、貯金デーに合わせて金融店舗前での農産物の販売、店舗内でのプライベートブランド商品を販売等、都市農業をPRしながら地域に密着した事業展開を行いました。（中村橋支店）
3 成果 (効果)	「どこでもマルシェ」開催については、支店職員も参加し購入者の呼込を手伝い、組合員と職員の交流が図れました。購入者には、地元で沢山の種類の野菜生産していることが宣伝できました。
4 今後の予定 (課題)	不定期開催ではあるが、どこでもマルシェは地域に定着し、リピーターの方も増え、次回開催を楽しみにしているという声もあるので、継続した開催支援を行ってまいります。また、他の金融店舗でも職員でアイデアを出しながら、都市農業をPRできる取り組みを全支店で横展開していきます。

【どこでもマルシェ 店頭風景】

